

平成25年度 第2回村上地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成25年11月19日（火）14:00～15:40
- 2 開催場所 村上市役所 本庁4階 大会議室
- 3 出席委員 板垣藤生、山口治雄、磯部幸雄、鍋倉静雄、片野高義、
本間正良、齊藤 茂、浅野謙一、菅原美知代、南波 恵、
佐藤芳男
- 4 欠席委員 石井秀逸
- 5 出席職員 佐藤課長、太田副参事、富樫係長、林係長、
渋谷主査、斎藤主査、菅原主査、増子主事
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第2回 村上地区地域審議会 会議次第

日時：平成25年11月19日（火）

午後 2時00分～

会場：本庁舎 4階 大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 委嘱状交付

4 議 事

- (1) 村上地区地域活性化推進策について
(資料1、資料2参照)

(2) その他

5 そ の 他

- (1) 第3回村上地区地域審議会の開催日程（予定）について
日時：平成26年3月 日（ ）
会場：市役所本庁

6 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (14:00)

事 務 局； 定刻となりましたので、ただ今から平成25年度第2回村上地区地域審議会を開催いたします。

本日は石井委員から欠席の連絡をいただいております。

開会にあたりまして、板垣会長からご挨拶をお願いいたします。

2 会長挨拶

会 長； 年末を前にして、大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

さて、昨年度から大きなテーマに取り組み、定住の里づくりアクションプランを基に村上地区の活性化策について、市民と行政が等身大で取り組める事業の検討を行ってきました。本日は、最終的な方向性を出していただくために審議をしていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

3 委嘱状交付

事 務 局； 続きまして、委嘱状の交付を行います。この度、佐藤村上商工会議所会頭様のご勇退され、11月1日付で齊藤茂様が会頭に就任されました。齊藤様、恐れ入りますが、その場にご起立くださいますようお願いいたします。

【委嘱状交付】

事 務 局； 齊藤様どうぞよろしくお願いいたします。

4 議事

(1) 村上地区地域活性化推進策について

事 務 局； 続きまして、議事に入りますが、その前に協議資料について確認をします。

それでは議事に入ります。規定に基づき会長が議長として議事を進めることとなっておりますので、これよりは板垣会長よろしくお願いいたします。

会 長； それでは、議事を進めたいと思います。

最初に村上地区地域活性化推進策について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局； それでは、資料1と2により村上地区地域活性化推進策について説明させていただきます。

【資料1・2により村上地区地域活性化推進策について説明】

会 長； 説明ありがとうございました。今の説明について意見や質問をしていただきたいと思いますと思いますが、まず質問はありませんか。

委 員； 流れるには大変すばらしい案だと思いますが、まちづくりハウスを整備することで、村上地区のよさを活かすことに繋がるのでしょうか。

事 務 局； まちづくりハウスが核となって人の繋がりができ、そこでできた繋がりが各地域のよさを活かすための活動に繋がっていくことを期待して、このような案を出させていただきました。

副 会 長； イメージとしては、鍛冶町のデイホームのようなものでしょうか。

- 事務局； そのようなイメージです。誰でも来て、お茶を飲んだりできるという感じだと思います。
- 会長； 村上地域まちづくり協議会では同じようなことを進めているそうですが、いかがですか。
- 委員； 私たちが進めているのと同じような感じだと思いますが、まちの駅と地域の人たちの生活との関係性が見えてきません。地域の暮らしの中にまちの駅があるような形になればいいのではないのでしょうか。
- 事務局； 例えば、地域のみなさんが、展覧会には出せないようなものでも作ったものを発表できたり、ボランティアをしたい人たちの窓口となったり、高齢者の出番づくりの場となればよいと思っております。
- 会長； 山辺里地域は農業が盛んですが、そのような地域としてはどうですか。
- 委員； 資料に書いてあるよさについては山辺里地域にも当てはまりますし、このような方向に進むべきだと思います。ただ、駐車場がなかったりすると、観光客だけが来る施設となってしまうと思います。
- 委員； まちの駅が宝と考えるとよいのでしょうか。
- 事務局； 資料にもありますが、まとめると環境、歴史、人が宝であると考えます。
- 委員； 具体的にはどこに建てるのでしょうか。上海府地域に建ててもらいたい気持ちもあるのですが。
- 事務局； 具体的な案はまだ持ち合わせていませんが、新しく建てるのではなく、空き家を利用したり、連絡所の機能をアップさせるなどとして考えたいと思っております。特に村上地域については、分館というものがありませんでした。旧中央公民館も取り壊されることから、いくつかのまちの駅を整備できればと思っております。
- 会長； そういう夢もありますが、今回はこういう方向でよいかということを審議いただきたいと思います。
- 委員； 温海までの高速道路ができますが、通過点にならないために、高速道路に村上地区のよさをアピールするような看板を設置したらよいと思います。
- 委員； まちの駅の資料の中に、設置・運営に際しほとんど費用がかからないと書いてありますが、実際はかかると思います。
- 事務局； 一般的なまちの駅概念を書いた資料でありまして、本市が考えているものとは少し異なっております。
- 副会長； 地域審議会は定住人口の増加と市の活性化を目的としていますが、観光協会から私が参加している理由は、交流人口も増加させたいからだと思っております。駅前の観光案内所のような施設が増えるのは、観光協会長としては嬉しいですが、地域のみなさんにとってはどうなのでしょう。そこに住む方たちが、本当に気軽に来られるのでしょうか。
- 会長； 今の意見は重要だと思います。
- 委員； 私は今回の審議事項について少し勉強した程度でよくわかりませんが、まちの駅は今ある観光客向けの施設や、集会所とは違ったものとなると思います。また、空き家を活用していかなければならないと思います。結局、人が集ま

れるか集まれないかということだと思えます。まちの駅は区を越えて集まれる、集会所の上のレベルにあるような場所だと思えます。そのような施設の設置には行政の指導も必要と考えます。ぜひ、人が集まりやすいまちの駅を考えていただきたいです。

会 長； ボランティアで活躍されている方々は、何か意見はございませんか。
委 員； 鍛冶町のデイホームは暗くて入りづらいですし、普段から通っていないと入りにくいです。情報センターには学生たちが勉強をしに通っています。市役所近くには駐車場がなく、路上駐車が多いです。駅前のジャスコ跡地の駐車場は周りに何もないので、そこに車を置いてどこかに行こうという気にはなりません。まず、デイホームに若い人たちが集まれるようにしたほうがよいと思えます。

村上地区には大きな大会ができるようなスポーツ施設がありません。石川県には、体育館の中に図書館などがある総合的なスポーツ施設があります。今は難しいと思えますが、村上地区の体育館を建て替える時に、そのような施設を検討してほしいと思えます。

会 長； 村上地区にどういう施設が必要かという話になりそうですが、大きな体育館を作るのは、市長に提言してもよいのではないかと思います。

委 員； 瀬波地域では、空き家を活用して子どもの勉強を見たり、お年寄りの話を聞いたりする場所がこの春にできました。こういうのがまちの駅なのかなと思えます。

委 員； 岩船地域は該当しないと思えます。協力する人としらない人がはっきりしていますし、難しいと思えます。また、まちの駅の整備にはお金が必要だと思うので、市に考えてもらいたいです。村上地域のことばかりではなく、各地域のことも考えなくてはなりません。先ほど話が出た体育館についても、早急に建てる必要があると思えます。

事 務 局； 市民の交流活動拠点となるまちの駅は、市で環境整備したいと考えております。それを踏まえてみなさんにご検討いただければと思えます。

会 長； 次回の審議はそれが主になるのでしょうか。

事 務 局； 次回は、まちの駅の整備についての提案をまとめることが主な審議事項となります。また、今回の審議に関連して出た他の意見についても、提案としてまとめられるように議論いただきたいと思えます。

副 会 長； まちの駅についてですが、例えば商店をイメージした場合、かどやさんや工藤酒店さんは地元の人も集まるし、観光客も来るので、そのような場所がイメージされるのかなと思えます。空き家となると指定管理になるのでしょうか。

事 務 局； まちの駅は、決まったものではなく、例えば「お菓子の駅」であったり、村上地区で言えば「お茶の駅」や「鮭の駅」であることもできます。また空き家については、指定管理は現在考えていませんが、まちづくり協議会で公の施設等の指定管理も将来的に考えられるのではないかと思います。

会 長； 合併交付金もなくなることであり、思い切った提案をしましょう。ただ、具体的な話になると、一方がよくても一方がダメということになるかもしれませ

るので、今のうちにたくさんアイデアを出せば、よいものが生まれるかもしれません。ぜひ、遠慮なく意見を出していただきたいと思います。

副会長； 懸念事項として、「また箱ものか」という声が出てくるかもしれません。ソフトの部分で何か政策はないのかと言われてしまうかもしれませんので、しっかりとみなさんが説明できるようにした方がよいと思います。

事務局； 今までみなさんに審議を重ねていただいたこともありますので、それらも踏まえまして、まとめたものを次回お出ししたいと思います。

委員； 山辺里地域は、農村環境改善センターもあり、施設には恵まれているわけですが、3年前に小学校が統合して、空いた施設の活用に期待していましたが、埋蔵文化財を置くために使うこととなったのが残念です。農産物の加工などに使える施設があればよいと思います。

委員； まちの駅はまちづくりの万能薬として考えてはいけないと思います。全体の中の一部の機能として、他とのバランスを考えたほうがよいと思います。

副会長； 私も全く同じ意見です。

会長； ここまではみなさん納得できたと思いますが、実際に利用する市民にとってどのような施設がよいのでしょうか。

委員； 子ども110番の家というものがありますが、目印が経年によりわからなくなっている状況もありますので、いつでも人がいる家を活用し、ちょっとした雨宿りや子どもが助けてほしい時に入れるような今の仕組みを活かすことも必要だと思います。

会長； そういった施設は、直接そこへ行けば助けてもらえるだけでなく、そういう家があるということで抑止力にもなります。

副会長； 私は瀬波地域で長い間育成会長をしていましたが、比較的瀬波地域ではそういう子どもたちの見守り活動をしてきました。

会長； 瀬波地域は危険なところもたくさんありますからね。

副会長； 公民館は時代遅れで、なくなっているのでしょうか。

事務局； 当地区は、古くは文部大臣から表彰を受けたほど公民館活動が盛んでしたが、公民館活動がコミュニティ活動に変遷してきた経緯があり、全国的にそれよいのかという議論が上がっています。

現在は、先進都市において公民館活動からコミュニティ活動まで網羅する組織もあります。

本市においては、行政改革大綱により分館制度が廃止となったものです。

会長； いろいろと議論を重ねてきましたが、話をまとめていきたいと思います。さまざまなまちづくり活動があるわけですが、なおかつ、まちの駅が必要な理由を確認させてください。

事務局； 本日の議論の中で、地域のみなさんが行っているそれぞれの活動や、暮らしを繋げる場所として必要という意見が多く出ました。これらを踏まえ、地域審議会の提案として市に提出いただければと思っております。

会長； このようなことですが、まだ何か言い足りない人はいますか。

委員； まちの駅をどこかに引き受けてくれと言っても、簡単にはいかないので、小

さいところから始める必要があると思います。まずは臨時的にやってみてはどうでしょうか。地域には、力があるのにそれを発揮できないでいる人がいるので、その人たちをサポートできるようにしたほうがよいと思います。

委員； 主体は地域の住民であることをはっきりさせるべきだと思います。まちの駅は行けば誰かがいるという点で公民館とは異なると思います。また、運営には行政があまり関与しないほうがよいと思います。

事務局； おっしゃる通りだと思います。

会長； だいぶ議論が進みましたが、このくらいで終わってよろしいでしょうか。次回具体的なものを事務局が用意してくれると思いますので、期待しましょう。

5 その他

会長； 次に、その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。

事務局； 次回は、まちの駅についての提案と市長への提言をまとめてお出ししたいと思いますので、みなさんにご審議いただきたいと思います。

次回の開催日程につきましては、3月の早い時期を考えておりますが、会長、副会長とも日程調整をさせていただき、ご連絡させていただきます。

それでは、閉会の挨拶を副会長からお願いいたします。

副会長； みなさんお忙しいところ大変ありがとうございました。次回のとりまとめを楽しみにして、本日審議したことを各地域にお持ち帰りいただければと思います。本日は大変ありがとうございました。

6 閉会 (15:40)